

# 保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。  
(正規販売店以外でご購入の場合は保証対象外となります。正規販売店は当社ウェブサイトでご確認いただけます。)

品名	スポットクーラー	型式	CS250		
保証期間	1年間		★お買上日	年	月 日
★お客様	ご住所	〒 TEL			
	お名前	様			
★販売店	通販サイト名	例: Amazon			
	店舗名				
	ご注文番号				

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

お買い上げ日から保証期間中に、本取扱説明書、本体銘板その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、無料修理いたしますので、製品型式と本保証書をご確認のうえ、当社ウェブサイトよりご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
    - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
    - ロ. お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
    - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
  - ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
  - ホ. 本書の提示がない場合。
  - ヘ. 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご転居の場合は事前に当社ウェブサイトよりご相談ください。
  - ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼されることができない場合には、本書記載の当社にお問い合わせください。
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
  - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、当社ウェブサイトまたは本書記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。

ライフジョイ ウェブサイト⇒<http://lifejoy.co.jp>

商品についての全般的なご相談

カスタマーサービスセンター  
フリーダイヤル **0120-803-446**

受付時間：平日 9:00～17:30 土曜 日曜 祝日 年末年始 休み  
株式会社 ライフジョイ 〒110-0005 東京都台東区上野6丁目1番6号

# PROIL スポットクーラー 取扱説明書 《保証書付》

型式

# CS250

排熱ダクト付き

このたびは当社の製品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

目次

- ①製品の仕様
- ②安全上のご注意
- ③組み立て方法
- ④正しい使い方
- ⑤お手入れと保管
- ⑥「故障かな?」と思ったら
- ⑦保証とアフターサービス

## ① 製品の仕様

型 式		CS250	
定 格		単相 AC100V	
		50Hz	60Hz
冷房能力 (kW)		2.2	2.5
消費電力 (W)	強冷	890	1050
	弱冷	870	1020
	強風	190	240
	弱風	185	225
始動電流 (A)		38	44
運転電流 (A)		9.8	10.7
力 率 (%)		90.82	98.13
風量 (m³/min)	冷風側(強)	4.0	4.2
	排熱側(強)	9.5	9.8
圧縮機	方式	全閉型ロータリー	
	出力(KW)	0.71	0.81
除湿水の処理方法		5リットルドレン用ポリタンク	
冷 媒		HFC R410A (GWP値:2090)	
冷媒封入量 (g)		540	
送風機モーター保護装置		サーマルプロテクター (135℃)	
電 源 コ ー ド		約2m	
外形寸法 (mm) ※ダクト含まず		約幅 390×奥行 430×高さ 810	
質 量		約 37kg	
電気代 (1時間あたり)		約24円	約28円
使 用 環 境		25℃, 50%～45℃, 40% (対人用)	

- 冷房能力および、電気特性は室温35℃相対湿度60%の条件で運転したときの値です。
- 電気代は強冷風運転時の消費電力を 1kWh:27円(税込)で算出しています。

この商品は日本国内専用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY  
621110703

## ② 安全上のご注意

### 記号の絵表示について

人への危害や財産の損害を未然に防ぐための重要な内容です。必ずお守りください。

★誤った使い方をされたとき生ずる被害を2つに区分

 <b>警告</b>	①人が死亡や重傷を負うおそれがある内容
 <b>注意</b>	②人が傷害を負うおそれや財産の損害を負うおそれがある内容

・本文中の絵表示の表す意味です。

してはいけない「禁止」の内容です。		一般的な禁止
		分解禁止
		ぬれ手禁止
必ず実行していただく「強制」の内容です。		必ず行う
		電源プラグを抜く

### 警告

-  **絶対に改造しない。**  
火災・感電・ケガのおそれがある。
-  **修理技術者以外の方は、分解・修理をしない。**  
火災・感電・ケガのおそれがある。
-  **交流100V以外での使用はしない。**  
漏電・感電・火災などの原因になる。
-  **定格15A以上のコンセントを単独で使用する。**  
他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱し発火するおそれがある。
-  **アースを確実に取り付ける。**  
故障や漏電のときに感電するおそれがある。
-  **電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。**  
電源コード破損し、火災や感電の原因になる。
-  **水平で硬い安定した場所に設置する。**  
また、本体は横倒しにしない。

## ② 安全上のご注意(つづき)

### 警告

-  **次の場所や屋外では使用しない。**  
感電、ショート、および火災、爆発の恐れがある。また、事故や故障の原因になる。  
・火気の近く ・雨や水しぶきのかかる場所  
・油や油煙が製品に直接かかる場所  
・ガスや蒸気、化学物質などの爆発性粉じんが発生する場所  
・灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、塗料など引火性のものがある場所
-  **本体の上に水などの液体の入った容器を置かない。**  
こぼれた水などで電気絶縁が悪くなり、感電・漏電火災などの原因になる。
-  **差込プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る。**  
差込プラグにほこりなどがたまり、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になる。
-  **お手入れ、取付のときは、差込プラグをコンセントから抜く。**  
ぬれた手で抜き差ししない。  
感電のおそれがある。
-  **包装用ポリ袋は子供の手の届かない場所に保管する。**  
顔に貼り付いたり巻き付いたりし、窒息による死亡やケガの原因になる。

### 注意

-  **アルミニウム・亜鉛・マグネシウム・チタンなどの爆発性粉塵・ガス蒸気等の近くでは使用しない。**  
爆発・火災の原因になる。
-  **船舶・車両等の空調用として使用しない。**  
水漏れ・漏電の原因になる。
-  **動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に必ず点検修理を依頼する。**  
感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがある。
-  **使用しないときおよび、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く。**  
ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になる。
-  **電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。**  
コードが発熱して火災の危険がある。必ず伸ばした状態で使用する。
-  **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。**  
感電やショートして発火する恐れがある。
-  **電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。**  
感電やショートして発火することがある。
-  **電源プラグにピンやゴミを付着させない。**  
感電やショートして発火することがある。

## ② 安全上のご注意(つづき)

### ⚠ 注意

- ❌ **電源コードに重量物をのせたり、挟み込まない。**  
電源コードが破損し、火災や感電の原因になる。
- ❌ **延長コードを使用するときは、延長コードの断面積が2.0mm<sup>2</sup>以上のものを8m以内で使用する。**  
コードが発熱して火災の原因になる。
- ❌ **振動のある場所や傾斜のある場所で使用しない。**  
転倒などによりケガや事故の原因になる。
- ❌ **排熱口・冷風吹き出し口や底面に指や手を入れない。**  
ケガをする原因になる。
- ❌ **冷風を長時間体にあてない。**  
体調悪化・健康障害になる。
- ❗ **運転可能条件範囲内で使用する。**  
感電・火災・故障の原因になる。  
25℃,50%～45℃,40%の雰囲気内で使用する。
- ❗ **フィルターに紙や物を貼らない。定期的にフィルター部の掃除を行う。**  
ゴミ、油分などが付着すると目詰まりにより、霜の発生・水滴吹き出しの原因になる。
- ❗ **移動する時は、必ず取っ手を持って移動する。**  
ケガをする原因になる。
- ❗ **運転時はキャスターのストッパーをかけ、本体が動かないように固定する。**  
ケガや事故の原因になる。
- ❗ **搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業をする。**  
落下・破損などによりケガをする原因になる。
- ❗ **人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかかめず膝もまげて持ち上げるようにする。**  
腰を痛める原因になる。
- 🔌 **保管する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**  
感電やケガの原因となる。

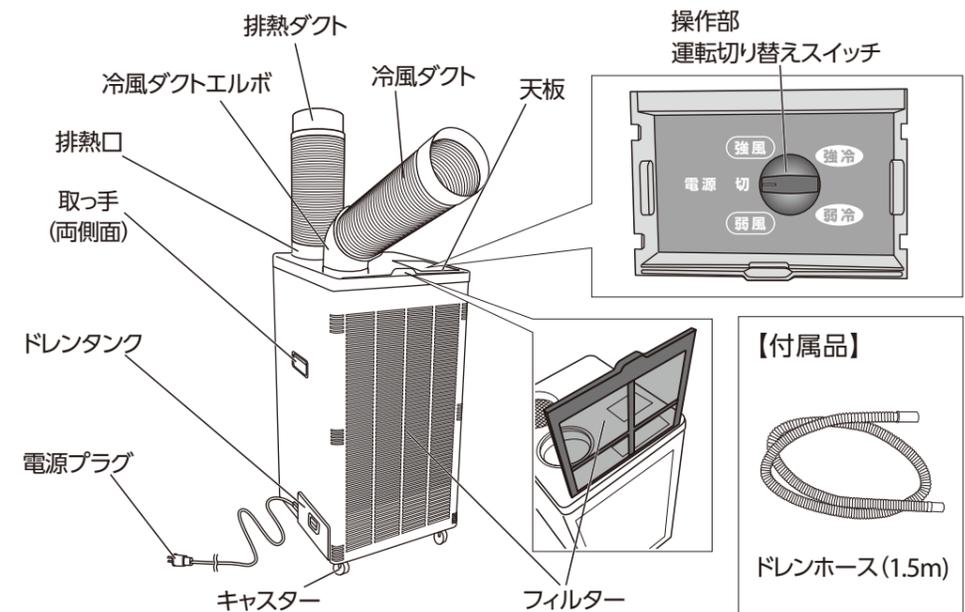
### ■ 廃棄について

本製品はフロンガスが使用されており、フロン回収破壊法における第一種特定製品として扱われます。廃棄するときは下記にご注意ください。

※本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用製品ではありません。廃棄する場合は、専門の回収業者に委託し適切に処理してください。廃棄についてご不明な点は、各地方自治体の窓口にご相談ください。

## ③ 組み立て方法

### 各部の名称



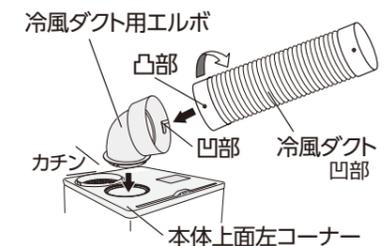
### 冷風ダクトの取付け

#### 冷風ダクト用エルボを取り付ける

- ・冷風ダクト用エルボを本体上面左コーナーに合わせ「カチン」と音がするまで確実に押し込む。

#### 冷風ダクトを取り付ける

- ・冷風ダクト用エルボの凹部と冷風ダクトの凸部を合わせて右側に止まるまで回すと取付けられます。



### ⚠ 注意

- 一度装着した冷風ダクトエルボの取り外しはひかえてください。
- 冷風ダクトの吹き出し口をふさいだり物を入れたりしないでください。

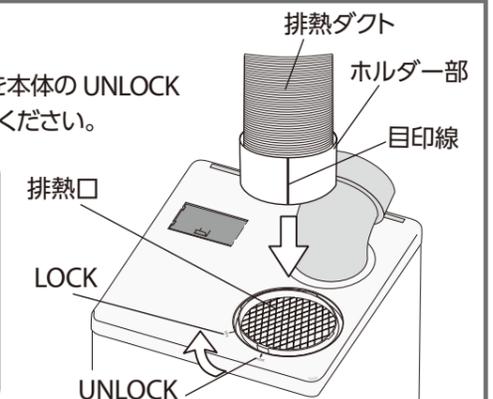
### 排熱ダクトの取付け

#### 排熱口に、排熱ダクトを差し込む

排熱ダクトのホルダー部分を両手で持ち、ホルダー部の目印線を本体の UNLOCK 表示に合わせて奥まで差し込み、LOCK 表示位置までまわしてください。

### ⚠ 注意

- 排熱ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。内部を傷めたり、故障の原因になります。
- 排熱口を塞がないでください。機能を妨げ、故障の原因になります。

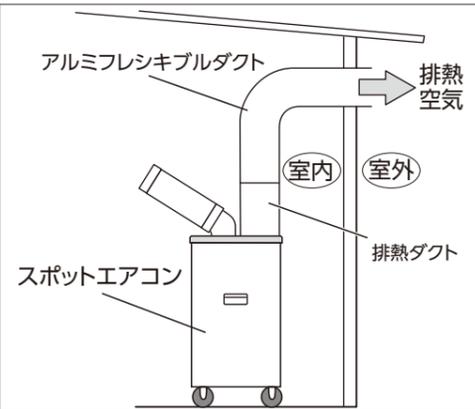
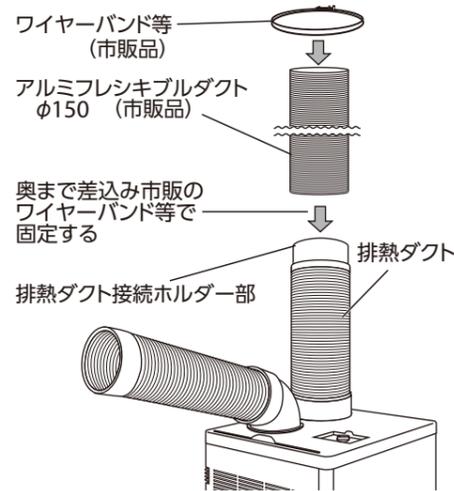


### ③ 組み立て方法(つづき)

#### 市販品アルミフレキシブルダクト(φ150)の取付け

市販品のアルミフレキシブルダクト(口径φ150mm)を排熱ダクトに直接取付けることができます。

アルミフレキシブルダクトどうしの延長については、市販のニップル(φ150)及びワイヤーバンド等により延長させ、室外に排熱空気を排出できます。



#### 注意

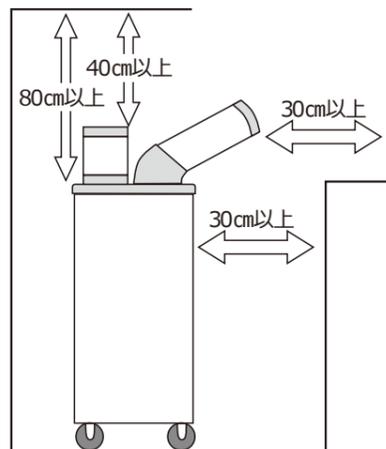
- 壁などに穴を開けて排熱ダクトを設置する場合は、工事業者などにご依頼ください。  
雨漏りなどのトラブルの原因になります。
- 排熱ダクトの中にものを落したり、棒などを入れないでください。  
内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
- 排熱口を塞がないでください。  
機能を妨げ、故障の原因になります。

#### 本体の設置

- フィルター・冷風ダクトは吹き出し口から30cm以上、離して設置してください。
- フィルターは前面のみですので、壁に寄せて設置できます。

#### 注意

- ◆フィルターの前面、冷風ダクト・排熱口の吐出し方向に障害物を置かないでください。
- ◆排熱ダクトからは熱風が排出されますので、熱に弱いもの等に直接熱風が当たらないように注意してください。
- ◆塩酸・硫酸等、著しく金属を腐食させるガスや蒸気が存在する場所に設置しないでください。ガス漏れや、性能を低下させる恐れがあります。



### ④ 正しい使い方

#### 本体と電源の接続

1. 電源は、直接コンセントからとってください。

#### 注意

●電源は直接コンセントからとるのが望ましいのですが、やむを得ず延長コードをご使用になる場合は、右表に従ってご使用ください。

延長コードが細かったり、長すぎたりしますと電圧降下により冷風が出ないことや運転しない場合があります。

電線の長さ	公称断面積
8m以内	2.0mm <sup>2</sup>
14m以内	3.5mm <sup>2</sup>
22m以内	5.5mm <sup>2</sup>

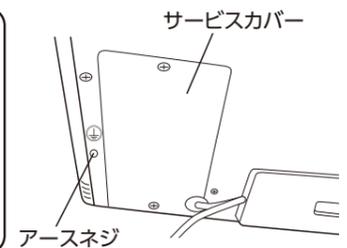
※8m以上の延長コードを使用される場合は、電気工事資格者に相談の上、適切なコードをご使用ください。

2. サービスカバーの左斜め横のアースネジにアース線を取り付けてください。

#### 注意

次のところにはアース線を接続しないでください。

- ガス管…爆発や引火の危険性があります。
- 水道管…プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- 避雷針・電話のアース線…落雷のときに大電流が流れ危険です。



#### 警告

- 電気工事、アース工事には資格が必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 労働安全衛生規則第333条・第334条および電気設備の技術基準により、漏電ブレーカーの取り付け・接地が義務づけられています。

「漏電ブレーカーは30A、30mA、動作時間0.1sec以内の物をご使用ください」

#### 操作方法

1. 運転方法と風量調整

天板の上にある操作部のふたをスライドさせ開き、運転切り替えスイッチをお好みの位置に回し運転を開始してください。

#### 注意

- 運搬後、冷却液が落ち着くまで3時間以上時間をおいてから電源を入れてください。
- スイッチを「切」にした直後、すぐに運転を再開しないでください。また「強冷(弱冷)」から「強風(弱風)」にしたあとも、すぐに「強冷(弱冷)」に戻さないでください。必ず3分以上お待ちになってから運転をおこなってください。  
・保護機能が働き、冷えない(冷風がでない)場合があります。
- 電圧の低下などによる過電流や異常過熱から圧縮機(コンプレッサー)を保護するために保護機能(オーバーロードリレー)が作動します。

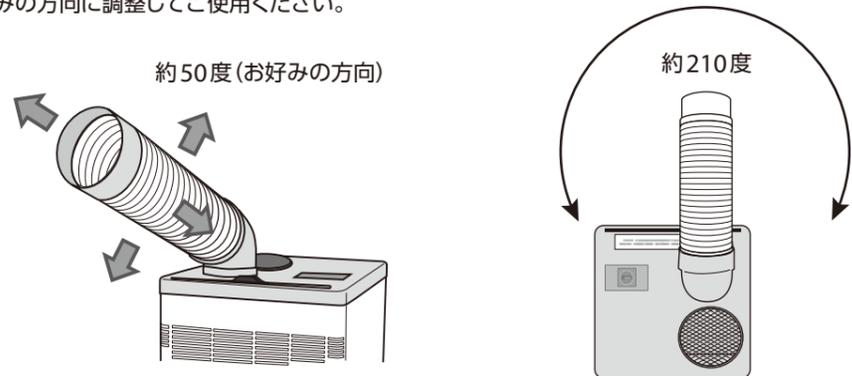


## ④ 正しい使い方(つづき)

### 操作方法(つづき)

#### 2. 風向き調整

冷風ダクトエルボは横方向で約210度回転し、冷風ダクトはフレキシブル性を持っていますので動作範囲内で好みの方向に調整してご使用ください。



#### ⚠ 注意

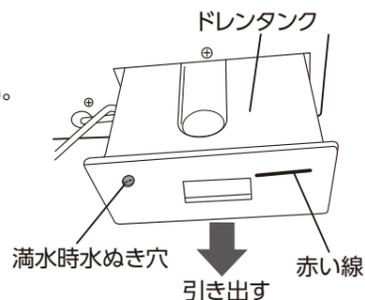
- 冷風ダクトを曲げるときは、冷風ダクトエルボ部分に手を添えて、ていねいに曲げてください。
  - ・無理をすると部分破損の原因になります。
- 冷風ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。
  - ・内部部品をいためたり、故障の原因になります。

#### 3. ドレンタンク

除湿した水はドレンタンクに溜まりますので定期的に水を捨ててください。ドレンタンクの容量は5Lです。

※本機は、熱交換器の蒸発側で除湿した水を、凝縮側で一部蒸発させています。この方式により、除湿水を少量に抑えたため、ドレンタンクが小型になりました。

ドレンタンクを手前に引き出すと本体から取り外せます。



#### ⚠ 注意

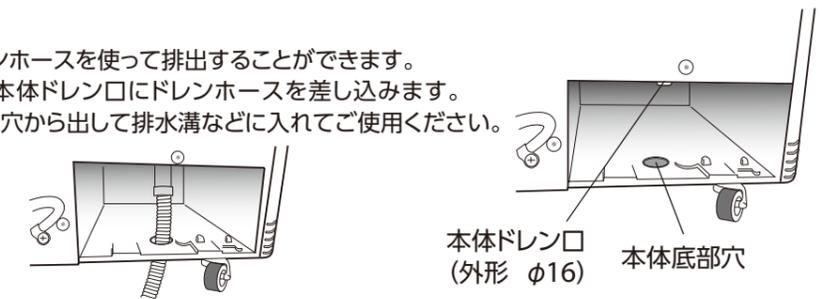
- 除湿水は満水になると本体内の水漏れ防止のため、ドレンタンクの満水時水ぬき穴より漏れ出しますので、タンクの赤い線まで水が溜まりましたら、除湿した水を捨ててください。(ドレン水を感知する機能は付いておりません。)
- 除湿した水の量はドレンタンクで確認してください。
- ドレンタンクの取出しおよび、水を捨てる際に、満水時水ぬき穴から水が漏れる場合がありますのでご注意ください。
- 除湿水量は、外気温、湿度などや熱交換器やフィルターの汚れなどで大きく変わります。特に梅雨時期など湿度の高い時期は、除湿水量が増えますので、ご注意ください。
- 良く冷えているのに、ドレンタンクに除湿水が溜まらないときは、除湿水は本機内部でほとんど蒸発している最良の状態です。熱交換器やフィルターの汚れによりドレンタンク以外に水漏れしているのでなければ、機器の異常ではありません。
- 本機を移動させる際は、除湿水が本体内に漏れますので、除湿水を捨ててから移動させてください。
- ドレンタンクは奥までしっかりと入れてください。入れ方が不十分ですと、水漏れの原因となります。

## ④ 正しい使い方(つづき)

### 操作方法(つづき)

#### 4. ドレンホース

除湿した水は、付属のドレンホースを使って排出することができます。ドレンタンクを取り出し、本体ドレン口にドレンホースを差し込みます。ドレンホースは本体底部の穴から出して排水溝などに入れてご使用ください。

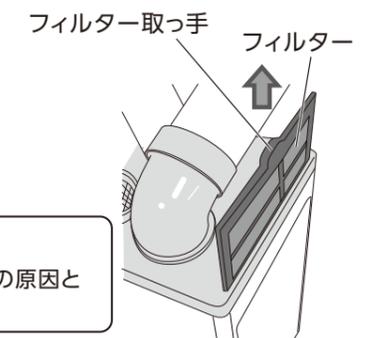


## ⑤ お手入れと保管

### お手入れ

#### 1. フィルターのお手入れ

- ・フィルターを外せる位置まで冷風ダクトを回転させフィルターを上を引き上げ外してください。
- ・フィルターのホコリを電気掃除機などで吸取ってください。
- ・汚れのひどいときは、水洗いしてください。
- ・フィルターは、完全に乾かしてから取付けてください。



#### ⚠ 注意

- フィルターの掃除はこまめに行ってください。
- ・フィルターが汚れていると本体内部が結露し、故障の原因となります。

#### 2. 本体のお手入れ

- ・やわらかい布などを水またはぬるま湯に浸し、かたくしぼってから使用ください。
- ・汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯を使用してください。
- ・その場合、乾いた布などできれいに拭き取ってください。

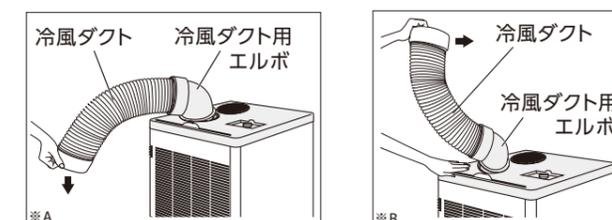
#### ⚠ 注意

- 直接水をかけて掃除することは、絶対にしないでください。
- ・電気絶縁が悪くなり、ショート・感電・火災の原因となります。
- シンナー・ベンジン・薬品・みがき粉等を使用しないでください。
- ・塗装面をいためたり、故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用の場合は、その注意書に従ってください。

### 修理・保管等で取り外す場合のご注意

#### 冷風ダクト用エルボを取り外す

本体から、冷風ダクト用エルボを取り外す際は、冷風ダクトを取り付けた状態で、ダクトの先を持ち、矢印の方向(下向き<sup>※A</sup>又は、上向き<sup>※B</sup>)に、強めにゆっくり曲げて取り外してください。



## ⑤ お手入れと保管(つづき)

### 保管

- 「お手入れ」方法に従って、お手入れしてください。
- ドレンタンク内の水を捨てて、中を乾燥させてホコリなどが溜まらないように保管してください。
- 1時間ほど、送風運転を行い、本体内部を乾燥させてください。
- ホコリがたまらないように適当なカバーをかけてください。
- 部品をなくさないように、保管してください。
- お子様の手の届かないところに保管し、湿度の高いところ、風雨にさらされるところ、直射日光の当たるところはさけてください。



**注意**

- 保管するときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
・感電やケガをする原因となります。
- 本機を横倒しで保管しないでください。  
・再始動のとき、コンプレッサーなどの故障の原因となります。

※熱交換器、シロッコファンなどの内部掃除は、保証書に記載されている当社「商品についての全般的なご相談」窓口にお問い合わせください。

## ⑥ 「故障かな?」と思ったら

修理を依頼される前にお確かめください。

症状	お確かめください
スイッチを入れても運転しない	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか? 停電ではありませんか? ブレーカーが切れていませんか?
冷えない	保護機能(オーバーロードリレー)が作動中ではありませんか? →一度電源を切り、3分以上待ってから再運転してください。 フィルター・冷風吹出し口・排熱口が障害物でふさがれていませんか? フィルターが汚れていませんか? 周囲の温度が45℃をこえていませんか? →本機は25℃～45℃の範囲でご使用ください。
水が漏れる	ドレン口が詰まっていますか? ドレンタンクが満水ではありませんか? ドレンホースが詰まっていますか? ドレンタンクが正しくセットされていますか?
霜が付く	周囲の温度が25℃以下ではありませんか? →本機は25℃～45℃の範囲でご使用ください。 フィルターが汚れていませんか?

次のような場合には点検・修理が必要です。

長年ご使用のスポットクーラーは点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか?

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

上記症状がなくても、お買上後4～5年程度たちましたら、安全のため点検をご依頼ください。点検費用につきましては当社にご相談ください。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、当社ライフジョイのホームページ<sup>(※1)</sup>より、ご相談ください。

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険ですので絶対におやめください。

## ⑦ 保証とアフターサービス

### 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

<本体への表示内容>

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。



**製造年 本体に西暦 4 桁で表示してあります**  
**設計上の標準使用期間 5 年**

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

<設計上の標準使用期間とは>

※運転時間や温湿度など、標準的な仕様条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無料修理期間とは異なります。偶発的な故障を保証するものではありません。

●設計上の標準使用期間算定条件

項目	条件	
使用環境	使用条件	100V 50Hz/60Hz
	温度	35℃
	湿度	相対湿度 60%
想定時間	1日あたりの使用時間	9時間
	1日使用回数	5回
	1年間の使用日数	112日

※「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

#### 1. 保証書

- この製品には保証書がついています。保証書はお買上の販売店で「販売店名・お買上日」などの記入をご確認のうえ、内容を良く読み、大切に保管してください。保証期間はお買上日より1年間です。

#### 2. 修理を依頼されるとき

- 内部をさわらずに、当社ホームページ<sup>(※1)</sup>よりご相談ください。保証の記載内容により修理いたします。
- 破損箇所をさわらずに当社ホームページ<sup>(※1)</sup>よりご相談ください。保証の記載内容により修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは当社ホームページ<sup>(※1)</sup>よりご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

#### 3. 補修用性能部品の最低保有期間

- この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は製造打切後6年としております。

#### 4. アフターサービスについてご不明の場合

- 修理サービスや商品についてのご相談は、当社ホームページ<sup>(※1)</sup>よりご依頼ください。
- ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、保証書に記載の当社まで、お問い合わせください。

(※1) ライフジョイ・ホームページ ⇒ <http://lifejoy.co.jp>

◆個人情報のお取り扱いについて◆

- ・お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や内容確認のために利用いたします。またその記録を残すことがあります。
- ・個人情報や相談内容は適切に管理いたします。
- ・修理等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。